

Ohana

第 66 号 2026 年 4 月 30 日



年頭所感

クリスマス会

新年会

メリア 10 周年

かりん成人式

家族会旅行

まつぼっくり改修工事

年次別研修

ハーモニーより



令和8年 年頭所感

統括施設長 早坂 裕実子

あけましておめでとうございます。

昨年も地震・山火事、さらには熊による被害など、多くの方が予期せぬ困難に直面されました。今もなお苦しい思いを抱えておられる皆さまに、心よりお見舞い申し上げます。一日も早く心安らぐ日常が戻ることを願うとともに、私たちが穏やかに日々を過ごせていることに深く感謝いたします。

◆ 一人ひとりの尊厳と向き合う社会へ

人手不足が続く中、日本社会の多国籍化はますます進んでいます。一方で、日本の出生率は過去最低を更新し、不登校のお子さんの低年齢化も顕著です。働ける人までも世に送り出せていないのではと感じてしまいます。

相談に来られるお子さんたちは、魅力や才能を感じさせる一方で、強い凸凹感を抱え、生きづらさを感じているように見えることがあります。社会と上手くつながれない苦しみを抱えているようにも見えます。しかし同時に、自分らしく発信し、社会に自らを押し出していこうとする若者も増えています。

教育の現場でも、凸凹を当たり前を受け入れるシステムがもっと広がればよいのにと、居場所を見つけられずに一緒に苦しむこともあります。

社会への適応と不適応、その境界はどこにあるのか。

そして、社会が多様な「その人らしさ」「多様性」をどう受け止めていくのか。

これは、私たち福祉に携わる者にとって避けて通れない問いです。

◆ 尊厳を支える「安全基地」の存在

発達の課題や障害の有無にかかわらず、人は誰もが一人の人として尊重される権利を持っています。そして、その人らしく生きるためには、安心して戻れる「安全基地」の存在が欠かせません。

昨年放送されたドラマ「ライオンの隠れ家」のテーマ曲、Vaundyさんの「風神」には、人が抱える不安や孤独、揺らぎを前提にしながら、人と向き合うことの痛みと優しさを表現しています。

心には“悲しみのリズム”があり、誰かを思うことで生まれる痛みが、やがて救いにもなる—そんなメッセージが込められています。

私たちもまた、誰もが心の揺れを抱えながら生きています。だからこそ、社会と良い関係を築くためには、自分の揺れを自分で受け止め他を受け入れる心の存在は大きいでしょう。子どもも大人も「心をつくる」ことを意図的に作業する必要であると感じています。

◆ 「その人らしさ」を支えるために

心とは、突き詰めれば脳の働きです。日々、療育の視点で子どもたちと関わる中で、思考が深まり、行動に試行錯誤が生まれてくると、それぞれの自立度が確かに高まっていくことに気づかされます。

- 自分や他者の行動を考え、答えを導く
- 自分の心に起きていることを言葉にする
- ときには誰かのための一言を見つける
- 喜怒哀楽を上手に表現できるようになる

思考という積み重ねが脳を鍛え、正しく情報を得て「その人らしさ」を支える心の力へとつながっていくのだと思います。

◆ AI時代における「人を尊重する支援」

労働人口が減少する中で、AIの活用は避けられません。昨年はAI元年ともいわれ、企業の業務プロセス、資料作成等々にも大きな変化が生まれ、AIが対話の相手として認識され始めました。福祉の現場でもシステム化が進んでいます。

しかし、どれほど便利になっても、私たちが大切にすべきは「一人の人として尊重する」という理念です。

AIを活用することで業務が効率化され、時間の余裕が生まれるのであれば、それは大きな助けになります。取り入れていくべきなのです。今や使いこなせなければ、取り残されてしまう危機感すらあります。法人も率先して仕組み作りに取り組み始めました。仕組みは外部とのつながり方にも新たな試みが必要になります。

では、その先に私たちは何を見るべきなのか。

私たち自身が思考を深め、心をつくる作業を怠らず、誰かの揺らぎに気づける存在であり続けること—そこにこそ、福祉の専門性があります。

法人全体が「誰かの安全基地」であり続け、「その人らしく生きることを支援する」という理念を、日々の実践の中で体現していくこと。

それが福祉現場の使命です。

◆ AI社会と共存していくために

日々の活動は、風を纏い、擦り傷が絶えないかもしれません。(byVaundy) 災害対策、経済性、環境整備、報酬改定など、課題は常に山積しています。

それでも、事業の根幹を揺らすことなく、一人ひとりの尊厳を守り、その人らしさを支える支援を続けていきたいと思います。

「AI」と共存する時代だからこそ、事業を存続し続けるために、人が育つことの価値を守り続けたいと思います。

クリスマス

12月23日、恒例のまつど育成会合同クリスマスパーティーがホテルミラコスタで開催されました。この日の為に準備を重ね、当日は楽しいひと時を過ごす事が出来ました。



ピースサインが決まっていますね！



今年の司会はこのお二人。
緊張されたそうですが素敵な司会でした。



乾杯はまつぼっくりのK・Tさん。
立派に大役を務めました。



理事長のご挨拶。皆さん真剣に耳を傾けています。



美味しい料理の数々



インタビュー、テーマは
「感謝を伝えたい人」



パーティー



パーティーのクライマックスは職員有志によるダンスパフォーマンス！華麗なステップが披露されると、会場からは自然と「アンコール！」の掛け声が沸き起こりました。その熱気に誘われるように、利用者の皆さんも次々とステージへ。会場全体がひとつになってダンスを楽しみました。
興奮冷めやらぬ中、サンタクロースからプレゼントが手渡されると、皆さんは「ありがとう」と笑顔を見せていました。



パーティーの締めくくりには、早坂統括施設長が登壇。「来年も一緒に頑張りましょう！」というメッセージに、会場のあちこちで深く頷く皆さんの姿が見られ、新年に向けた決意が感じられました。

今年のテーマは「感謝」

「ありがとう」を力に、次なるステージへ



2026 年 Ohana 新年会

令和 8 年 1 月 23 日(金)ディズニーアンバサダーホテルにて、恒例行事となっているグループホーム新年会を開催しました。これまで利用していた TDC のホテルが宴会場を縮小し、アンバサダーで行うことになりました。同じ TDL のホテルとはいえ会場の雰囲気も違いますし、移動も様々となりました。公共交通機関を利用して来られる方、公用車を利用して来られる方、親御さんと来られる方などそれぞれの方法で参加されましたが、大きな問題もなく、皆さん時間通りに到着されていました。会場に入れば、もう慣れたもので、皆さんゆったりテーブルに着き、開始時間まで写真撮影などして過ごされました。お互いのドレスを褒めあい、すてきな会話が飛び交いました。



司会は、IさんとMさん、なんとGHに移られたばかりの新人2名が大抜擢されたのです。お2人とも職員と打ち合わせし台本を作成し、表現しやすい言葉を選んでいました。作業終了後、それぞれのホームで、何度も練習を重ねました。

リハーサルでは2人ともとてもにこやかで、スラスラこなしていました。お互いが相槌やサインで確認し、ほほえましい姿を見ることができました。





ところが本番、お2人ともとても緊張して、言葉を囁んだり、先のせりふを言ったり。しかし、それもおふたりで確認しながら修正し会を進めて下さいました。どちらもご両親が参加されていて、ハラハラ、ドキドキ。終わってみれば感無量、みんなでもらい泣きしてしまうシーンもありました。親御さんは我が子の成長を喜びつつ、これからの GH の生活をもっと応援しようと思われた瞬間でした。



統括施設長の最後のご挨拶。法人第1号のグループホーム利用者のご紹介がありました。法人がまだホームをどう運営してよいかわからない時に、住みながらいろいろ教えてくださった方たちです。

スタートはマンションで開始しました。今は広いホームに移っていただきました。彼らの経験があって、法人はいろいろ学ばせてもらい今にいたります。

感謝を込めて改めて壇上でお話をさせていただきました。



meloal 1 懇親会

GH メリアを開所して 10 年。今年はホームごとに親御さんの親睦会を企画していました。メリアの親御さんから、10 年のおむね何事もなく暮らすことができたことは親からすれば奇跡に近い。そんな思いがある。なので、子供たちと一緒に 10 周年を祝いたい。という申し出がありました。メリアの利用者は「行動障害」として様々な様相を見せてきた方たちです。入所支援施設「まつぼっくり」開所時に利用を開始し、10 年の時を経て、メリアに移りました。親御さんたちは移動をうれしいなどとは思わず、せつかく入所で落ち着いたのに、そもそも、我々の子がグループホームで暮らせると思えない。そう言って、一応に不安を募らせたのでした。

そんな思いからの 10 年、今穏やかに暮らす彼らを母たちは安堵の想いととも、今の姿を誇りとすら感じ、「10 周年」という企画にしたいと思われたのです。

令和 7 年 11 月 9 日（日）ザ・クレストホテル 柏にて、meloal 10 周年懇親会が行われました。すべて親御さんたちの段取りで、場所、企画等々進められ、ホテルでコース料理も、クリスマス会の積み上げあればこそその企画だったそうです。それでも親御さんは 2 時間の食事と懇談は難しいかもしれない。帰りたくなれば、早めに切り上げましょうと打ち合わせていたそうです。

和気あいあいとした雰囲気が始まり、初めての場所でしたが初めての場所でしたが終始落ち着いて食事を召し上がられていました。もちろん、マナーよく。パンも飲み物も自らオーダーする振る舞い。ナイフとフォークを上手に使う姿に親御さんは感無量。そして、2 時間の会食をゆっくり全員で終えたのです。



会の途中で、利用者さんから日頃の感謝を込めて、親御さん達へお花をお渡したり、職員から親御さん達へ、グループホーム当初と今の利用者さんを比較したアルバムをお渡ししたりするイベントを設け、皆さん楽しまれていました。また、10 年を振り返り、グループホーム初日のエピソードや、昔はやんちゃだったのに、今はこんなに利用者が落ち着いてくれた等、親御さんや職員から思い思いの話をされていました。

今後ともご家族の思いに添った、支援を行なって行こうと思います。

10th
anniversary !



【メリア初日のエピソード】

グループホームへ移動し初めて泊まる際にちゃんと寝てくれるか心配で、親御さんも気が気では無く、統括も何時でも駆けつけられるように待機していましたが、皆さん、ここが我が家と言わんばかりのなじみ方で、自室で過ごし、穏やかな眠りについていました。連絡をもらった親御さんも統括もあまりのあっけなさに、これからは彼らをもっと信用しようと思ったそうです。

【親御さんからのコメント】

- ・信じていてもドキドキ、しかし、息子もこれまでの経験が生きていた。メリアだけで、こんな優雅な食事ができるとは夢にも思わなかった。そしてマナーも素晴らしかった。うれしい。
- ・10周年はあっという間だった。グループホームでの生活はどうなる事かと思ったが。やっぱり無理でと言われるかも・・・と。しかし、今は帰省してもすぐに帰ろうとする。居場所が完全に逆転しているのだと少しさびしい。
- ・クリスマス会の数回は、食事の際にスーツを着てくれるか、ネクタイをずっとつけてもらえるか毎回心配していたのに、今はあたり前のように着替える。
- ・親の顔を見れば財布を出せ、コーラを買えとせがんできたのに、何もせがまず、普通に食事をしている。本当に大人になったのだとうれしくもあり、誇らしくもあります。

❀ 令和 7 年度成人式 ❀

令和 7 年度かりん成人式が 1 月 12 日（月）に行われました。

今年は 1 名の利用者さんが成人式に参加され、をご家族と職員とお祝いをしました。昨年同様あじさいで有名な「本土寺」で写真撮影を行い、式後の食事は、これまで近くの「一の糸」で会食をしていましたが今年は閉店に伴い、お弁当を注文し「黒門屋」の 2 階をお借りしました。ゆっくり楽しい時間を過ごすことが出来ました。新たな門出に立ち会うことができ、今後も応援していきたいと思います。



黒門屋さんの前でダブルピース！楽しそうな様子が写真からも伝わってきます！



家族 3 人で五重塔のまで撮影です♪お天気もよく記念になる 1 日でした。



袴を着てピシッと家族写真！着付けは早坂統括施設長にお願いしました！かっこよくこなしています！



スペシャルゲストの獅子舞登場！怖がってしまうことなく陽気にツーショット！最後はお花とアルバムをお渡ししました！嬉しそうな表情を浮かべています！



家族会旅行 in 秩父



2月13・14日に家族会旅行がありました。今回の旅行先は、自然豊かな秩父へ行ってきました。まず訪れたのは、歴史ある宝登山神社。白く立派な鳥居をくぐり、清らかな空気の中で参拝を行いました。旅の始まりにふさわしいひとときとなりました。

その後は、地元の伝統文化に触れるため、豪華な山車が展示された秩父会館を見学。繊細な装飾や祭りの雰囲気、皆さん興味津々の様子でした。向かいに秩父神社があるので、近くを散策。



夕方には和銅鉱泉ゆの宿和どうに到着し、旬の食材をふんだんに使った会席料理を堪能。美しい盛り付けと心のこもったおもてなしに、自然と会話も弾みました。ゲームや歓談を通して、親御さんと職員の距離もぐっと縮まり、笑顔と笑い声が絶えない時間となりました。



翌日は、花園いちご園で苺狩りに行きました。とっても甘くおいしい苺をたくさん食べました。その後は、目の前にある道の駅でお土産やお買い物を楽しみました。



今回の旅行を通じて、施設とご家庭とのつながりがより深まり、今後の支援にも良い影響を与える貴重な機会となりました。ご参加いただいた皆さま、ありがとうございました！

まつぼっくり改修工事

令和7年8月中旬からまつぼっくりさくら南のユニット改修工事が行われました。8月中旬から10月末までの約2か月半で共有部分が、11月下旬から12月初旬の約2週間で個室が新しくなりました。

工事中はお風呂やトイレ、デイルームなどが使えないため、入浴はさくら北、食事は3階の食堂で、というように移動が多くなり、これまでのスケジュールから変更せざるを得ない部分がありましたが、利用者の皆さんは不満そうな様子もなく、大きな混乱もなく受け入れて下さっていました。また、「さくら南リニューアルします」と嬉しそうに話される方もいて、完成後を楽しみにしている様子がうかがえました。

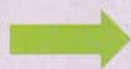
Before



After



【お風呂】これまでは洗い場が3つあり、浴槽も広いため数人が同時に入っていましたが、完成後は一般家庭の浴室が2つある形になっています。1人ずつ入ることになるため、プライバシーが確保されています。



【キッチン】キッチンを囲むように壁・扉ができたため、デイルームからはすっきりと見えます。大きい食洗器も付けてもらい、これまでより洗い物が楽になりました。



【トイレ】以前よりそれぞれの個室が広くなりました。利用者の皆さんもゆったり使えますが、職員も介助がしやすいです。



【洗面所】これまでは学校などにあるようなシンクでしたが、一つずつ分かれて使えるようになりました。洗濯機は扉付きの収納に入れることのできるようになりました。



【デイルーム】デイルームに新しくクローゼットルームができました。利用者の方の衣類はこちらに置いています。以前は各居室にクローゼットがありましたが、クローゼットがあると居室が狭く感じてしまう為、改修を機に思い切ってクローゼットルームを作りました。その分、お部屋は広々です。



クローゼットがなくなった分、お部屋が広々すっきり！

【個室】壁の一部に色が違う板がありますが、これは利用者の方がそれぞれ好きな色を選んでしています。この色付きの板は、デイルームの机やクローゼットルームにも使用されています。全体的に木がふんだんに使われており、さくら南に入ると木のいい匂いがします。以前よりも温かみのある空間になりました。

☆利用者の方にユニットが新しくなった感想を聞きました！

ロッカーが可愛い。
使いやすい。綺麗になって良かった。



綺麗になって嬉しいです。自分で壁の色を決めたんですよ。



令和7年度 年次別職員研修

今年度の研修、これまでの勤続年数ではなく“縦割りグループ”で実施することになりました！

若手もベテランもごちゃ混ぜで、どんな化学反応が起きるのか分からない状況でのスタートでした。

班員自ら見学先にアポイントを取り、質問内容や見学のポイントをしっかり整理します。当日のスケジュールも細かく話し合い、昼食の場所までバッチリ決めていました。

私の所属班が見学したのは、足立区にある社会福祉法人「あだちの里」です。現場の工夫や支援の姿勢を肌で感じられる絶好の機会に、「どんな話が聞けるだろう」「どんな取組みをしているのか」と楽しみでした。



平日の日中にうかがったこともあって、施設では利用者の方々が受注作業に取り組む最中でした。黙々と作業を進め、職員の方が声をかけながら、サポートする姿がとても印象的…その関わり方を

見ているうちに、「自分たちの職場はどう見えているのだろう」と外からの視線が気になる瞬間もありました。



見学後、いただいた資料や写真を広げ話し合いを進めました。意見を出し合いながら内容をまとめ、スライドと台本づくりの作業に突入…集まっては読み合わせを行い「ここ、もっと分かりやすくしたいね！」と内容をブラッシュアップしていきました。回を重ねるたび発表の形が整っていくのを実感し、ワクワクしました。



そして迎えた発表当日。ずらりと並ぶ上長たちの視線に緊張しましたが…なんとか発表を終えました。

終わった瞬間の安堵感は、もう言葉にできないほどでした。総括では、各上長から改善点を丁寧にご教授いただき「これは次の研修で絶対に活かさねば」と身が引き締まる思いでした。学びを持ち帰るという今回のテーマに、最後までしっかり向き合えた気がします！

ハーモニーよりご寄付頂きました！

令和7年11月6日ハーモニー様から6,499,722円頂き、マイクロバスを購入しました。
この度は、私たちの施設に素晴らしいバスをご寄付いただき、心より感謝申し上げます。



大人の利用者の皆様にとって、安全でゆとりのある移動手段は、社会とつながるための大切な足となります。
今回いただいたバスのおかげで、これまで諦めていた場所への外出や、日々の送迎が格段にスムーズになります。

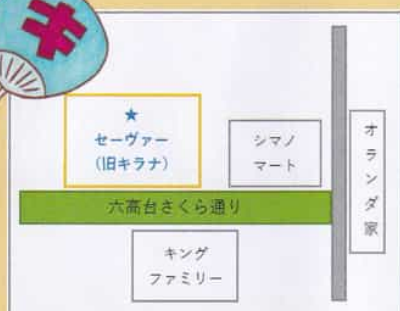


新しいバスが到着した際、利用者の方々からは
「広くて乗り心地がよさそう！」
「これなら遠くのお出かけも安心だね」
と、たくさんの笑顔と歓声が上がりました。



毎週金・土曜日 15:30～19:00

セーヴァー前で焼き鳥販売中です。



【お問い合わせ先】

〒270-2267 松戸市牧の原 2-48

就労継続支援 B 型事業者 キラナ

TEL 080-3728-6996 / FAX 047-710-2094

令和 7 年度広報委員紹介

法人のイベントや研修等を沢山の方に
知って頂き、楽しく読んでもらえると
嬉しいです。1 年間ありがとうございました。



山口

記事を書いて下さった皆さんありがとう
ございました。とても素敵な記事でした。
1 年間ありがとうございました。



郡山

ご協力頂いた皆さん、素敵な記事をありが
うございました。笑顔あふれる写真をたくさん
見る事が出来て楽しかったです。



我妻

記事を書いて下さった皆さん、素敵な記事を
ありがとうございました。1 年間、楽しみなが
らお届けさせていただきました。



新部

職員の皆さんには普段から撮影のご協力を
頂きありがとうございます。来年度も色々な
瞬間に出会えることを楽しみにしています。



嶋野

【後援会「ハーモニー」会員紹介のお願い】

後援会「ハーモニー」では、私たちとともに活動して下さる方、私たちの活動を支援して下さる方を広く募っています。後援会「ハーモニー」は、社会福祉法人まつど育成会が目指す、障害者の年代ごとに応じた支援体制(障害者総合支援法に基づく施設入所支援、グループホーム、ケアホーム、多機能型通所施設、地域活動支援センター等の就労場所の確保など)を支援することを目的に設立されました。これらの各種事業を成功させるためには安定的な経営基盤が必要です。後援会「ハーモニー」への期待も大きなものがあります。つきましては、本会の趣旨と現状をご理解いただき、企業、ご親戚、お知り合いの方、一人でも多くの方が会員としてご入会くださるようにご紹介をお願い致します。

【後援会費】 一般会員 年額一口 3,000 円(一口以上)

特別会員 金額は任意です。

【入会方法】 入会ご希望の方、ご紹介いただきました方には、入会申込書と手数料無料の郵便振込取扱票をお送り致しますので、下記口座に会費を払い込みくださるようお願い致します。払込金受領書をもって領収書とさせていただきます。

【口座番号】 00150-0-537583

【加入者名】 後援会「ハーモニー」

【お問い合わせ先】

〒270-2204 松戸市六実 1 丁目 64 番地

社会福祉法人まつど育成会内 後援会「ハーモニー」

TEL 047-389-4176 (担当: 柳町・畑)/FAX 047-388-2714

～執筆者紹介～

年頭所感	早坂 裕実子
クリスマス会	上島 光彦
	上野 浩介
新年会	伊藤 俊之
	森 友恵
メリア10周年	中島 直人
かりん成人式	塚田 智也
家族会旅行	渡邊 琴香
まつぼっくり改修工事	宮澤 愛美
	松淵 純奈
年次別研修	宮城 伊吹
ハーモニーより	郡山 裕子